



消防大学校だより

平成29年度 講師派遣について

消防大学校では、都道府県の消防学校等における教育訓練の充実のため、技術的援助として、消防学校等からの要請により、警防、予防、救急、救助等の消防行政・消防技術について講師の派遣を行っています。

平成29年度も多くの派遣要望が寄せられました。これに積極的に対応することとし、下表のように、42校123件（481時間）の講師派遣を決定しました。

なお、消防学校等での女性活躍推進のための取組（女性活躍推進に係る講義の実施や女性消防吏員のキャリアアップに関する先駆的な教育訓練に取り組みたい場合

等）を行うため、消防大学校の教官等の派遣を必要とされる場合は、追加で講師を派遣します。消防大学校教務部まで御相談ください。

また、各消防学校に消防大学校の修了者リストを提供していますので、修了者を講師等とするなど、修了者と積極的に連携いただくようお願いします。

今後とも引き続き、消防を取り巻く環境変化を踏まえながら、広い視野や専門的・高度な知識・技術を持ち、指導力・統率力に優れた人材の育成に取り組んでいきます。

●平成29年度 講師派遣の予定

区分	講義内容	件数	時間数	
総合教育	上級幹部科	危機管理、業務管理、管理職の役割、人事管理など	8	30
	中級幹部科	現場指揮、消防時事、消防財政、安全管理、人事業務など	14	53
	初級幹部科	現場指揮、安全管理、消防時事、人事業務管理など	5	17
専科教育	警防科	消防戦術と安全管理、警防行政の現状と課題など	11	42
	特殊災害科	特殊災害の概論、特殊災害の消防活動要領・安全管理など	10	39
	予防査察科	違反処理、予防査察行政の現状と課題、査察など	15	59
	危険物科	危険物行政の現状と課題、危険物規制など	6	24
	火災調査科	火災原因調査、原因調査関係法規、鑑識など	30	129
	救助科	災害救助対策、安全管理など	14	54
	救急科	救急業務総論、応急処置の総論など	4	14
その他	教育主幹科、災害現場指揮科、指揮隊教育など	6	20	
計		123	481	

問い合わせ先

消防大学校教務部 久富
TEL: 0422-46-1712



指揮隊長コース第17回、第18回の実施

消防大学校では、緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させることを目的に「緊急消防援助隊教育科指揮隊長コース」を設置しています。

本年度の指揮隊長コースでは11日間（教育時間60時間）にわたり、緊急消防援助隊の部隊運用・指揮要領、NBC災害、航空隊と地上部隊の連携等に関する講義のほか、校外研修及び図上訓練を実施し、第17回（4月17日～27日）の35名、第18回（5月8日～18日）の48名、計83名全員が修了しました。

本コースでは具体的に、最新の緊急消防援助隊の法制、計画、活動の多様な事例、部隊運用・指揮を学び、緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等として必要な指揮、安全管理能力の向上を図るとともに、大規模災害時の応援・受援体制の充実強化のため、高度な知識の修得に努めました。

また、昨年発生した「平成28年熊本地震」における実態を学ぶため被災地の熊本市消防局及び福岡県大隊指揮隊長として出動した福岡市消防局から講師を招へいし、緊急消防援助隊の実際の受援・応援活動について御講義いただき、災害対応能力と指揮能力の向上を図りま

した。

校外研修では、緊急消防援助隊のオペレーションを実施する消防庁危機管理センターを視察するとともに、消防庁幹部からの広域応援、国民保護に関する講義を受講、さらに千葉県市原市消防局のエネルギー・産業基盤災害即応部隊（ドラゴンハイパーコマンドユニット）、東京消防庁江東航空センターの航空消防救助機動部隊（エア・ハイパーレスキュー）、海上保安庁横浜防災基地の視察を行い、緊急消防援助隊活動全般に係る見識を深めました。

研修を終えた学生からは、「消防大学校でなければ聴講することができない実災害での緊急消防援助隊の応援、受援活動を始めとする貴重な講義に加え、視察や図上訓練を通じて知識を修得することができた。」など、教育訓練全般及び学生相互の交流を含めて、今後の緊急消防援助隊の活動に有益であったと評価する意見が多く寄せられました。

指揮隊長コースで共に学び修了した学生が、消防大学校で得た知識・技術等の財産を糧に、大規模災害発生時の被災地における緊急消防援助隊の有効な活動と充実強化、そして国民の安心、安全の確立に向けて活躍されることを期待しています。



指揮シミュレーション訓練の様子



ドラゴンハイパーコマンドユニットの視察

問い合わせ先

消防大学校教務部 柏崎助教授
TEL: 0422-46-1714